

学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成26年11月5日(水) 11:00～11:40

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

発 表 事 項

1. 東北創生研究所「連携研究員」の委嘱について
2. 「SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)／革新的設計生産技術」に工学部のプロジェクトが採択されました
3. 小国盆地は縄文時代早期より前は湖だったことが判明
4. 第42回山形大学模擬裁判公演のお知らせ
5. 特別展 山形大学附属博物館の古文書展
「家の都合 男女の事情」「遊びと信心の旅もよう」2会場同時開催！
6. 「奥の細道マイスター養成事業公開講座」について

お 知 ら せ

1. 浦戸諸島かき祭りの開催
2. 第4回安達峰一郎記念世界平和弁論大会の開催
3. 山形在来作物研究会公開フォーラムのお知らせ
4. 山形大学校友会支援事業「山形大学卒業生講演会」の開催

(参 考)

○ 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：平成26年11月18日(火)11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

平成26年11月5日
山形大学

東北創生研究所「連携研究員」の委嘱について

東北創生研究所が目指す「自立分散型社会システムの構築」への研究活動等に連携・協力していただくため、このたび、二つのモデル地域の職員5名の方々を「連携研究員」として委嘱しました。

1 連携研究員とは

地域社会との連携を強化するため、本学が行う研究活動に連携・協力する学外の方のことで、地域社会の活性化等に関する知見、技能等を有する方について、学長が委嘱するものです。

2 連携研究員紹介

モデル地域	現職	氏名(年齢)	摘要
戸沢村	総務課課長補佐	荒川 知也 (54)	政策担当
	同 政策調整係長	大宮 修太郎(41)	財政担当
	産業振興公社	山崎 昇 (63)	高齢者福祉関係
真室川町	産業課課長補佐	佐藤 信和 (53)	農林担当
	企画課課長補佐	奥山 新吾 (52)	企画調整担当

(任期：平成26年10月10日～平成28年3月31日)

3 主な連携協力事項

- ① 地域振興のための総合政策
- ② 少子高齢化集落における地域コミュニティの再構築
- ③ 少子高齢化社会（人口減少社会）における行政システムの構築
- ④ 観光の再生・振興
- ⑤ 耕作放棄地の有効利用に関する研究（プロジェクト研究）等

(お問合せ先)
山形大学東北創生研究所
准教授 村松 真
TEL 023-695-6228

平成 26年 11月 5日
山 形 大 学

「SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)／

革新的設計生産技術」に山形大学工学部のプロジェクトが採択

SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)において、山形大学大学院理工学研究科の古川英光教授を研究代表者とする研究課題「デザイナブルゲルの革新的3Dプリンティングシステムによる新分野の進展支援と新市場創出」が採択されました。この研究課題では、ゲル材料を任意の形状に造形できる3Dゲルプリンターやゲルの構造解析装置を開発し、ゲル材料が有用とされるウェアラブル端末やロボット、介護、医療などの分野において、個人のニーズにマッチした製品を製作できるシステムを構築し、新市場の創出を目指します。

このたび、山形大学工学部が提案したプロジェクト「デザイナブルゲルの革新的3Dプリンティングシステムによる新分野の進展支援と新市場創出」（研究開発責任者：古川英光教授）がSIP（戦略的イノベーション創造プログラム）の「革新的設計生産技術」分野の課題として採択されました。

エス・アイ・ピー
SIP（戦略的イノベーション創造プログラム）について

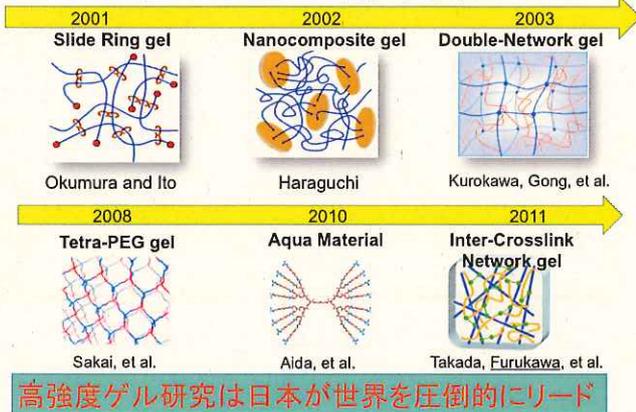
SIPプログラムは、科学技術イノベーションを実現するために創設された、府省・分野を超えた横断型のプログラムです。内閣府-総合科学技術・イノベーション会議が課題を特定し、予算を重点配分するものであり、基礎研究から出口（実用化・事業化）までを見据え、規制・制度改革や特区制度の活用等も視野に入れて推進していくものです。SIPは10の課題に分けられ、その課題の一つである「革新的設計生産技術」では、地域の企業や個人が持つアイデアや技術・ノウハウを活かした新たなものづくりスタイルを確立することにより、地域発のイノベーションを実現し、グローバルトップを獲得できる新たな市場の創出を目指します。提案するものづくりスタイルは、設計や生産・製造に関する革新的な技術を開発し、企業・個人ユーザのニーズに迅速に應える高付加価値な製品の設計・製造を可能とするものです。

このたび、「革新的設計生産技術」において、山形大学工学部が提案した研究プロジェクトが採択されました。

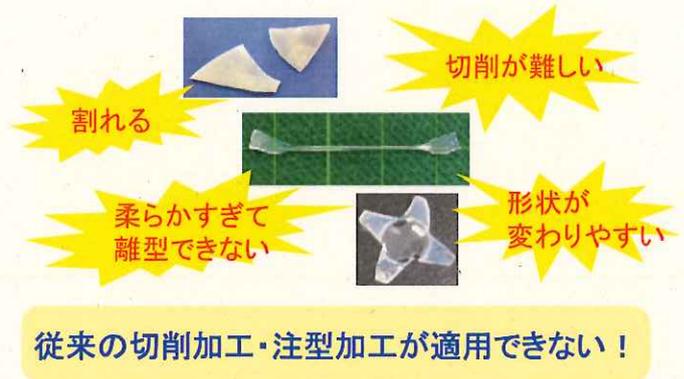
本学が保有する技術3Dゲルプリンターについて

ゲルは生体バイオ材料であり、その最先端研究は日本が圧倒的に世界をリードしていますが、実用化研究は特定の分野に限られており、未だ新しいアプリ開発やマーケット拡大に至っていません。この原因は、非常に柔らかいゲルの加工の難しさにあります。

日本発！ さまざまな革新的高強度ゲル



しかし、高分子ゲルの精密加工では・・・

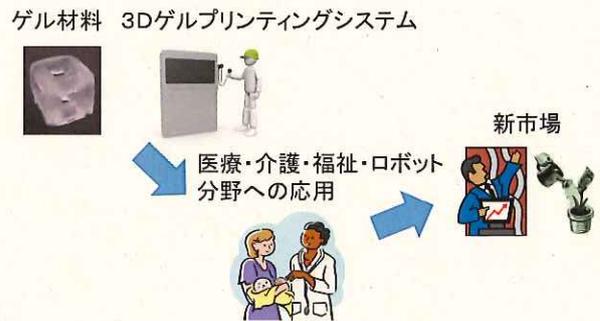


ゲルの医療応用や新しい産業利用に必要なゲルの材料加工の難しさを克服するため、研究代表者の古川教授は複雑な3D構造をもつ高強度ゲルを精密に自由造形する技術である3Dゲルプリンターを開発してきました。

ゲルの精密加工を可能にする3Dゲルプリンター



デザインブルゲルによる新市場の創出



本プロジェクトでは、この基礎技術に基づき、“デザインブルゲル（分子設計のデザインと、形状や機能のデザインが自由な革新的ゲル材料）”の自由造形を可能にする3Dプリンティングシステムの応用・実用化研究に取り組み、

- 個人の体形に合わせた柔らかい福祉、介護用具や義肢
- 体型に合った、柔らかく付け心地のよいモニタリングデバイス等のカスタムパーツ
- 柔らかい可動部や外装部のパーツで構成された、「人に優しい」介護、家事ロボットといったデバイス、サービスを提供することで、医療、介護、福祉、ロボット等の進展に貢献し、同分野での新たな市場の創出を目指します。

本プロジェクトは山形大学ライフ・3Dプリンタ創成センター（山形県米沢市）・JSR株式会社（東京都港区）・サンアロー株式会社（東京都中央区）の産学連携事業として、5年総額3億円の計画で共同実施いたします。

（お問合せ先）

山形大学ライフ・3Dプリンタ創成センター（エルピック） <https://www.facebook.com/lpicbook>
 センター長 古川英光教授 furukawa@yz.yamagata-u.ac.jp TEL: 0238-26-3197
 副センター長 川上勝准教授 kmasaru@yz.yamagata-u.ac.jp TEL: 0238-26-3218
 工学部研究支援課 koukenkyu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp TEL: 0238-26-3004

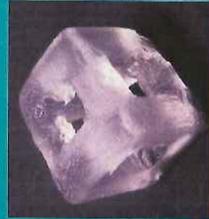
3Dプリンターが加速するメイカース革命 - 山形大学ライフ・3Dプリンタ創成センター (LPIC)

(センター長)古川英光, (副センター長) 峯田貴・野々村美宗・川上勝, (幹事) 村澤剛・松葉豪・多田隈理一郎
 (幹事補佐) 宮瑾・牧野真人・齊藤梓, (メンバー) 滝本淳一・M. A. Langhjem・堀田純一・上原拓也・
 龍健太郎・幕田寿典・山野光裕・S. Sathish Kumar・高山哲生・Md. Hasnat Kabir・本橋隆行



- (1) 世界初の3Dゲルプリンター、透明3D模型の開発と実用化
- (2) 最先端の3D材料研究開発センターに若手研究者・学生が集結
- (3) 企業や市民が参加する共創プラットフォームの整備と活用

(1) グローバルトップのゲル造形・分析技術



デザインナブル
高強度ゲル

ゲルの
造形

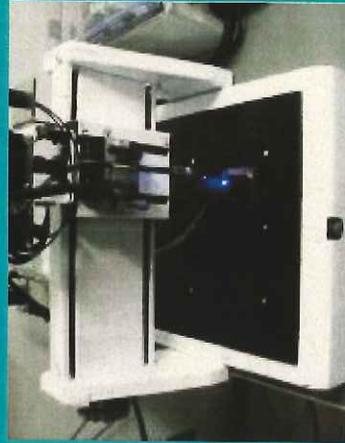


臓器モデル

ゲルの
評価



ゲルレンズ



3Dゲルプリンター
SWIM-ER (スイマー)



ゲルのナノ構造解析
SMILS (スマイルズ)

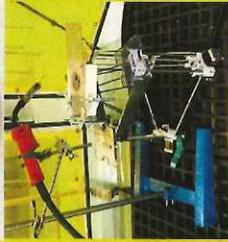
(2) 山形大学ライフ・3Dプリンタ創成センター



分子模型・臓器模型
“川上モデル”



3Dプリンター
E-Chef
による食の創成



低コスト金属
3Dプリンター
の開発

(3) 企業や市民と創る地方発メイカース革命!



企業向け: グローカル・メイカース
・プラットフォーム (GMP)
シー・エム・ピー



市民・小中高生向け:
米沢駅2F「駅ファブ」



NEW!!

スイマー 3Dゲルプリンター SWIM-ER

レーザーと光ファイバーを駆使した
高強度ゲルの三次元造形システムを開発しました

3DゲルプリンターSWIM-ERはレーザーと光ファイバーを駆使したゲルの三次元光造形システムです。ゲル溶液中に反応を誘起するレーザー光を光ファイバーを通して局部的に照射することで、短時間のゲル化が可能です。コンピュータ制御により、光ファイバーはXYZ軸へ自在に動くので、複雑な空洞構造が高精度で造形できます。3DゲルプリンターSWIM-ERは、人工血管やアクチュエータなどの医療材料、形状記憶ゲルなどのSoft&Wetな工業材料(SWIM)のオーダーメイド製造への応用が期待されています。

3Dゲルプリンターが造形するゲルは、人工血管、アクチュエーター、形状記憶材料の製造など、様々な製品に応用可能です。

アプリケーション

■ 産業製品・機器

吸収剤 緩衝剤
防振剤 表面コーティング剤
超低摩擦軸受け
形状記憶複合材料

■ 医療品・機器

人工血管
人工心肺
コンタクトレンズ
バイオチップ

■ 医療・再生医療

オーダーメイド脳内血管
オーダーメイド軟組織
オーダーメイド臓器
Soft & Wet手術検証・訓練用模型
3D・透明・高強度な細胞培養足場

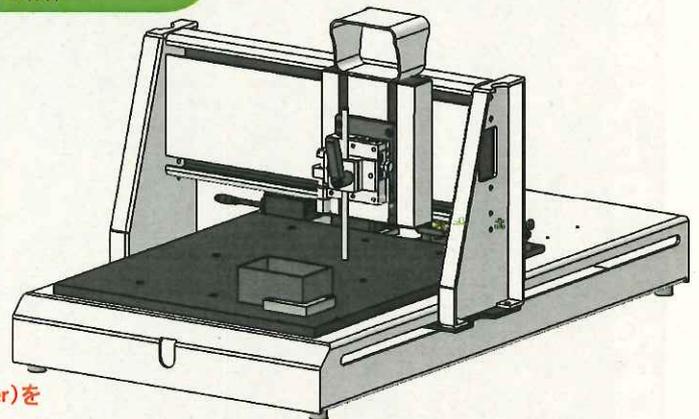
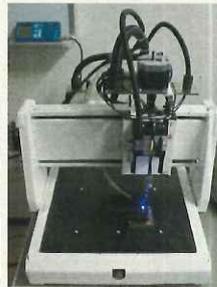
■ ヘルスケア

QOLの向上

■ CO₂削減・エコ

超低摩擦軸受
超低摩擦内壁
生分解性ソフト材料

レーザー
出力20mW
 $\lambda = 325\text{nm}$



SWIM-ERはSoft&Wetな工業材料(Industrial Mater)を簡単に実現(Easy Realizer)!!



コンピュータコントロールにより、
複雑な空洞構造を
短時間で自在に造形します。

機能

コンピュータ制御による複雑な空洞構造造形 (数 μm 間隔)
高強度ゲルの造形 (圧縮破断強度2.3MPa)
高強度出力レーザー (20mW)
短時間で光造形可能 (4mLを5分で造形)
低出力UVレーザーで安全
簡単で安全な操作可能



山形大学 大学院理工学研究科 古川英光
ソフト&ウェットマター工学研究室

furukawa@yz.yamagata-u.ac.jp



3Dプリンターで作った変身する鯉のゼリー



こいこい
3D恋鯉ゼリー

お湯で変身



ハート
鯉が恋に変わる！

いろいろな楽しみ方



- 3Dトランスフォーム食品
- 3Dデザイナーブルソフト食品

食品3Dプリンターでビジネスマッチ東北に出展します！

東北最大級のビジネス展示・商談会 第9回 ビジネスマッチ東北2014

日時: 2014年11月6日(木) 10:00~17:00

場所: 仙台市夢メッセみやぎ展示棟

出展団体: 米沢市雇用創造推進協議会「米沢いただきます研究会」

協力: 山形大学 古川研究室、山形大学ライフ・3Dプリンタ創成センター

本件のお問い合わせ先:

山形大学 古川研究室 宮 瑾

米沢市雇用創造推進協議会 貝 沼

Tel: 0238-26-3218

Tel: 0238-28-0176

駅ふぁぶ × 上杉博物館 イベント案内

3Dプリンタで感じる

2014年
11月8日(土)

歴史スポット

詳しくは駅ファブのウェブサイトへ → ekifab.com

3Dプリント体験 10:00～15:30

(歴史逸話解説 11:00～12:00)

場所: 米沢駅2階 多目的室「駅ファブ」(毎週土曜日10:00～17:00営業)

- 川中島, 春日山・・・戦国ゆかりの地を3Dプリンタで再現
- “愛”の兜飾りを3Dプリントしてみよう

“愛”も3Dプリントよ



3Dプリント作品



かねたんレリーフ

3Dプリント “山岳模型”



(地形データ提供: 国土地理院)

米沢市上杉博物館での
特別展「置賜の山岳信仰」
11月1日(土)～11月30日(日)

「触れる! 山岳模型」も展示中
(3Dプリンタ製作協力: 山形大学
ライフ3D・プリンタ創成センター)

<https://www.facebook.com/lpicbook>



世話人: 山形大学工学部マイクロナノマシン研究室内・歴史同好メンバーズ(代表・峯田貴)
http://mineta_lab.yz.yamagata-u.ac.jp/ (峯田研HP)

平成26年11月5日
山形大学

小国盆地は縄文時代早期より前は湖だったことが判明 －山形県立小国高等学校「地域文化学」第1班の調査結果－

地域教育文化学部 川辺孝幸教授が講師として協力している小国高等学校の授業「地域文化学」において、縄文時代早期より前の1万2千年以前、小国盆地には湖が広がっていたことが、現地調査と山形大学高感度加速器分析センターのAMSC¹⁴年代測定の結果によって初めて明らかになりました。

◆経緯

山形県立小国高等学校では、地域や大学と連携しながら地域学習を進めており、1年生を対象に県内大学等の教員が講師となり、班毎に「地域文化学」の授業が行われています。第1班では、2011年度から山形大学地域教育文化学部の川辺孝幸教授の指導のもと、「小国盆地の生い立ちを探る」をテーマに調査・研究を行い、これまでに小国盆地の西に隣接する沖庭山山系の東斜面で約2万数千年前に大崩壊が生じたことを明らかにしてきました。また、もし、小国盆地を流れ出る荒川の赤芝峡で大崩壊が起り、赤川が堰き止められたら、小国盆地が水没する可能性をシミュレーションしてきました。

◆今年度の調査結果

先輩たちの調査・研究結果を踏まえ、過去に小国盆地が水没して湖が広がったことがあるかどうかを以下の方法で調査したところ、

- ①段丘地形のうち最も高い平坦面の発達する小国町大宮の子安神社周辺の3箇所5地点で簡易貫入試験(*1)を実施
→ 調査できた深さ約5mまでほとんどが泥の地層からなっていることが判明
- ②最も標高の高い子安神社の北側で、簡易ボーリング(*2)により深さ約2mまでの柱状サンプルを採取
→ 実際に泥の地層が続いていることを確認
- ③②の柱状サンプルの上部と下部の2箇所の泥を、山形大学高感度加速器分析センターでAMS-C14年代を測定
→ 約1.2万年前と約1.3万年前のものであることが判明。

縄文時代(約1万5千年前～約2800年前)早期の約1万2千年前より前に、小国盆地には湖が広がっていたことが判明しました。

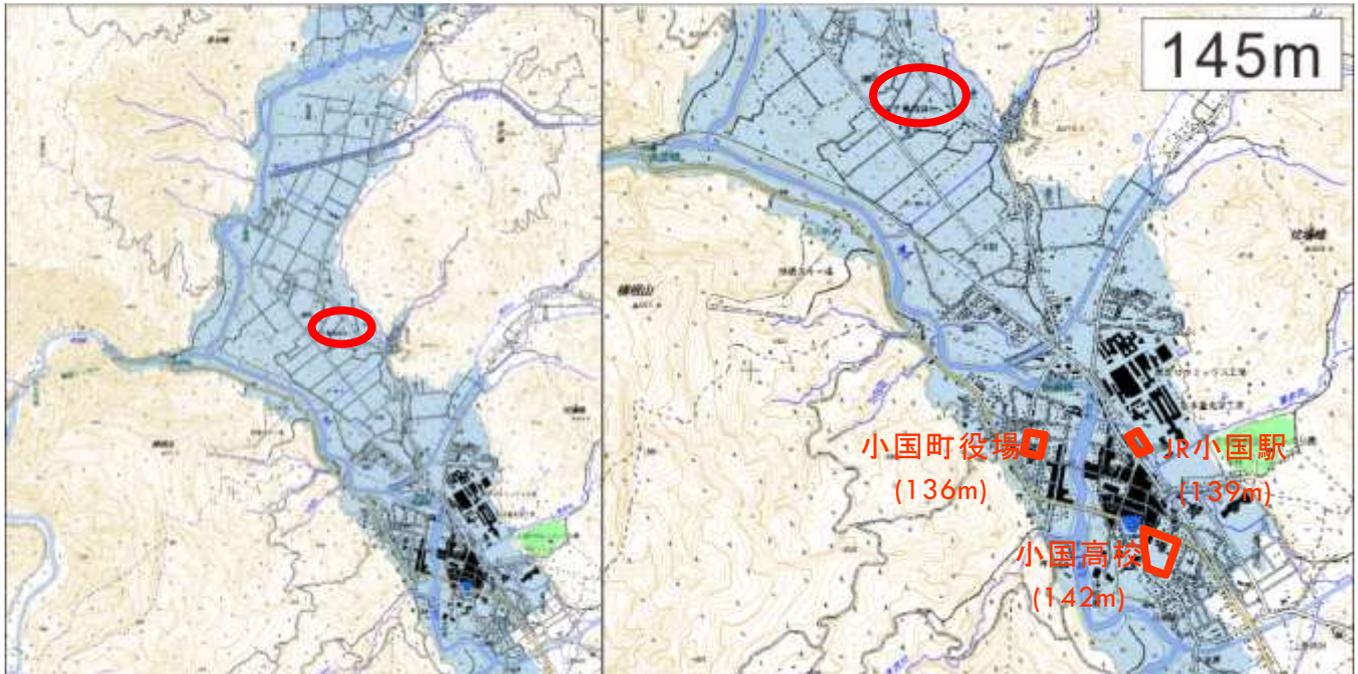
子安神社の泥層がつくる平坦面は、堆積した後に荒川と横川によって浸食されて、現在は子安神社周辺にしか残っていません。しかし、泥層が堆積した約1.2万年前には、泥層を堆積させた湖が、小国盆地全体に広く広がっていたと考えられます。

◆今後の予定等

調査・研究結果を、小国高校での地域文化学研究発表会(11月18日)、日本大学文理学部(東京都世田谷区)で開かれる社会地質学会環境地質シンポジウム(11月27日、28日)において生徒たちが発表する予定。

小国盆地には、洪水や山の崩壊にまつわる大蛇伝説が言い伝えられています。1967年(昭和42年)8月26日から8月29日にかけて発生した羽越豪雨の際には、赤芝峡は崩壊しませんでした。小国盆地に流れ込んだ荒川と横川の多量の水によって、小国盆地内では実際に大規模な冠水被害が起きています。予

想外の豪雨が増えてきた近年、今後、小国盆地が水没する可能性も考えた防災対策が必要であることがわかりました。



約1.2万年前の湖の標高(約145m)を現在の地形に当てはめた場合の湖の広がり(左:広域, 右;市街地周辺の拡大). 楕円部分が調査地域.

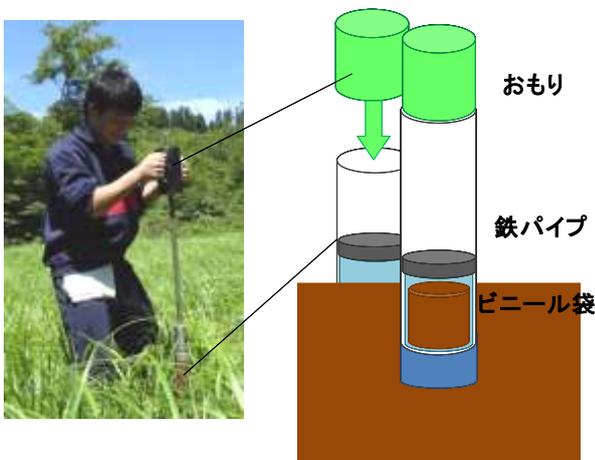
参考:

簡易貫入試験(*1):

5kgのハンマーを50cmの高さから手動で自由落下させて、先端のコーンが10cm貫入するのにかけた回数を測定することで、地盤の固さを調べる方法。軟らかい泥層の場合、浅い部分では数回であるが、泥層が連続している場所では、深くなると、ロッドに泥が絡みついて抵抗が増し、数十回になる場合もある。

簡易ボーリング(*2):

約55mmのサンプリング用鉄パイプを10kgのハンマーで打ち込んで、地層のサンプルを採取する方法。



(お問い合わせ)

地域教育文化学部生活環境科学コース 川辺 孝幸

電話: 023-628-4425, kawabe@kescriv.kj.yamagata-u.ac.jp

山形県立小国高等学校

電話: 0238-62-2054, <http://www.ygt-oguni-h.ed.jp/>

平成26年11月5日
山形大学

第42回山形大学模擬裁判公演のお知らせ

山形大学模擬裁判実行委員会は、年に1度、模擬裁判という裁判劇の公演を行い、研究成果を発表しています。この活動は今年で42年目になります。

・模擬裁判とは

山形大学模擬裁判実行委員会とは、山形大学人文学部の1年生から4年生を中心に構成される人文学部の組織で、その研究成果発表が年に一度の模擬裁判という裁判劇の公演です。

模擬裁判の目的はこの裁判劇を市民の皆様に観ていただくことで、法律を身近に感じ、その時代時代が抱える社会問題について考えていただくきっかけを作ることにあると考えています。

・模擬裁判実行委員会の設立経緯

元々、山形大学には経済学を学ぶ「経済系」のコースしかなく、次第に学生の中で「法律を学びたい!」という意見が出始めました。「法律系」のコースを作るには何か実績を残す必要があり、そこで誕生したのが山形大学模擬裁判実行委員会(「もぎさい」)でした。珍しいのは、経済学を学ぶ学生が立ち上げたという点です。

山形大学「もぎさい」発足前、東北大学には既に「もぎさい」があり、その影響も少なからずあったという話もあります。現在では、東北大学、金沢大学、岩手大学の「もぎさい」と交流があります。

・公演内容

テーマ : 「いじめ～救いの手はどこに～」

日時 : 12月12日(金) 開場17時30分 開演18時00分

12月13日(土) 開場14時30分 開演15時00分

場所 : 山形市中央公民館 (az七日町6F)

チケット : 前売り250円、当日300円 (山形生協 八文字屋本店POOL

十字屋山形店 Corich(ネット販売))



(お問合せ先)

第42代山形大学模擬裁判実行委員会

委員長 鈴木 利規

(人文学部法経政策学科3年)

Mail: 777wgpg@gmail.com

模擬裁判を 観るメリットって？

1. 裁判の最初から最後までが2時間でわかる!!
2. 難しい法律用語を知らなくても大丈夫!!
3. 普通の演劇とは一味違った面白さがある!!

つまり!!
楽しく法律を学ぶことができる!

今年度のテーマは「いじめ」

「死んだほうが楽ならそっちのほうがいい。」
 高校1年3月、いじめられていたことを記した遺書を残し、翔太は自ら命を絶つ…。
 両親は学校側に説明を求めるも、その回答は両親の納得できるものではなかった。
 —なぜ翔太が自殺しなければならなかったのか。 真実を明らかにするため、
 両親は学校側を相手に裁判を起こすことを決意するのであった。

どこに「救いの手」はあるのか——近代のいじめに潜む闇を描く。

公演予告動画は
コチラ!!



皆様のご来場を
心よりお待ちしております。

※当日にこのチラシをお持ちいただければ、
前売り価格にて当日チケットを
ご購入できます!



いじめ
救いの手はどっから

第42回 山形大学模擬裁判公演

日時	チケット取り扱い
12/12(金)	山形大学生協
開場 17:30	十字屋山形店
開演 18:00	八文字屋本店 POOL
12/13(土)	CoRich(ネット販売)
開場 14:30	
開演 15:00	
場所	入場料金
山形市中央公民館	前売券 250円
(az 七日町 6F)	当日券 300円
	※高校生以下無料

【主催】山形大学模擬裁判実行委員会 【協賛】 山形県教育委員会 山形市 山形市教育委員会 山形県弁護士会 山形地方検察庁
 株式会社山形テレビ 株式会社さくらんぼテレビジョン 山形コミュニティ放送 株式会社アレビュー山形
 株式会社ケーブルテレビ山形 株式会社エフエム山形 YAGFM78.8MHz 山形新聞・山形放送 河北新報社
 毎日新聞山形支局 東北新報東京本社山形支局 毎日新聞山形支局 NBS 山形放送局 山形地方裁判所



MOGISAI.net <http://mogisai.net/> お問い合わせ 080-6048-1877(鈴木)

平成26年11月5日

山形大学

特別展 山形大学附属博物館の古文書展

「家の都合 男女の事情」「遊びと信心の旅もよう」2会場同時開催！

山形大学附属博物館が所蔵する古文書をユニークな切り口で紹介します！

1. 主催

山形大学附属博物館 公益財団法人山形市文化振興事業団 山形市

2. 趣旨

文化庁平成26年度地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業に採択された「山形の古文書を未来に伝承するプロジェクト」の一貫として実施する展覧会です。山形大学の学生も展示パネル制作などに参加し親しみやすい展示を目指します。

3. 各会場の展示案内

(1) 「家の都合 男女の事情」

会期：2014年11月8日（土）～2015年1月16日（金）

会場：最上義光歴史館（山形市大手町1-53（JR山形駅下車、徒歩15分））

入館料：無料

(2) 「遊びと信心の旅もよう」

会期：2014年11月13日（木）～2015年1月18日（日）

休館日：12月1・8・15・16日、12月29日-1月5日、1月13日

会場：山寺芭蕉記念館（山形市大字山寺字南院4223（JR山寺駅下車、徒歩8分））

入館料：大人400円（20名以上の団体は1名につき320円）

（お問合せ先）

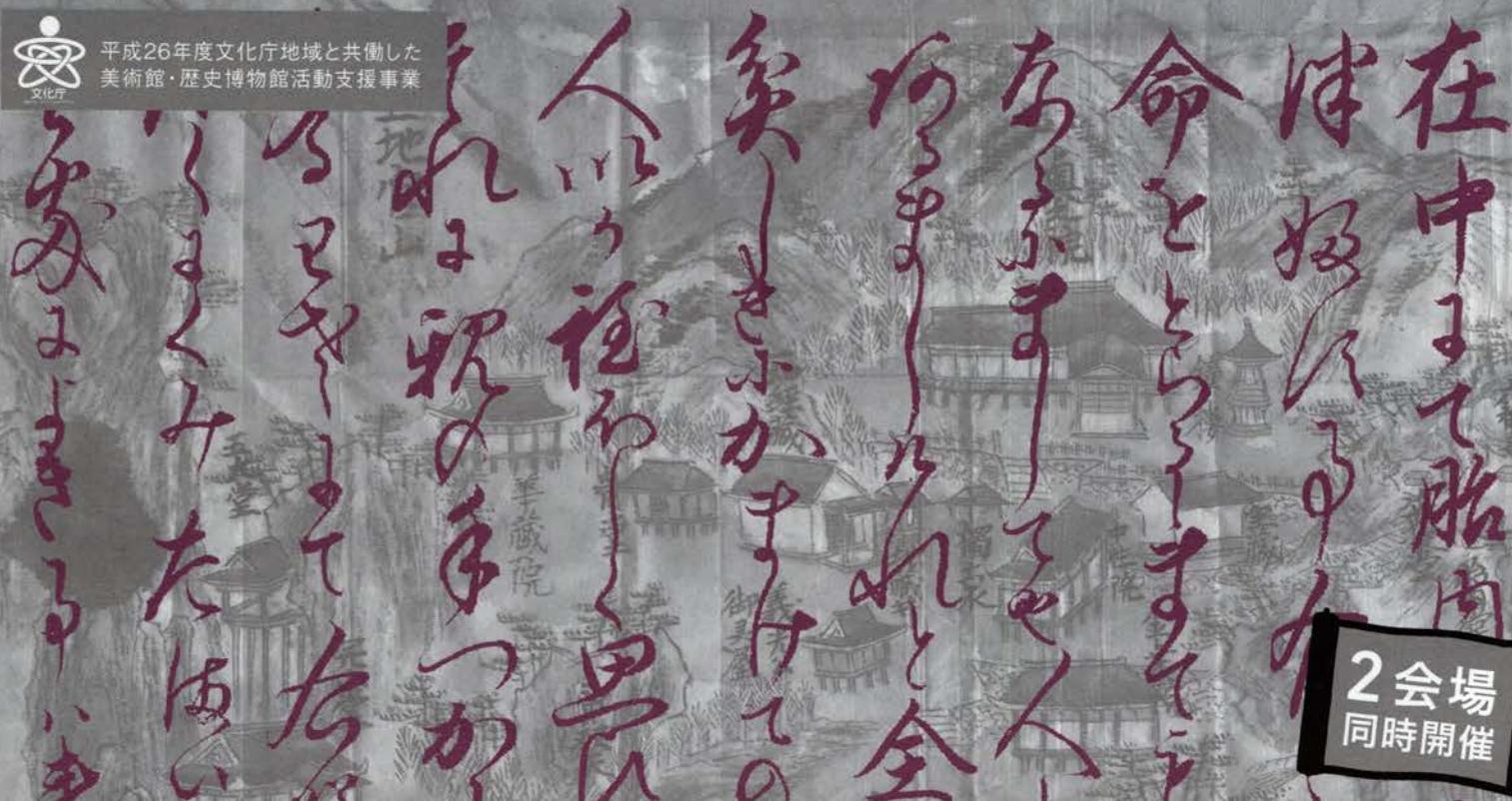
山形大学附属博物館

高橋・佐藤

電話 628 - 4930



平成26年度文化庁地域と共働した
美術館・歴史博物館活動支援事業



2会場
同時開催

山形大学附属博物館の古文書展

「家の都合 男女の事情」& 「遊びと信心の旅もよう」

2014年11月8日(土)～2015年1月16日(金)

2014年11月13日(木)～2015年1月18日(日)

【休館日】 毎週月曜日(国民の祝日と重なる場合はその翌日)
12月29日～1月3日

【休館日】 12月1・8・15・16日、12月29日～1月5日、1月13日

【開館時間】 9時～17時(※入館受付は16時30分)

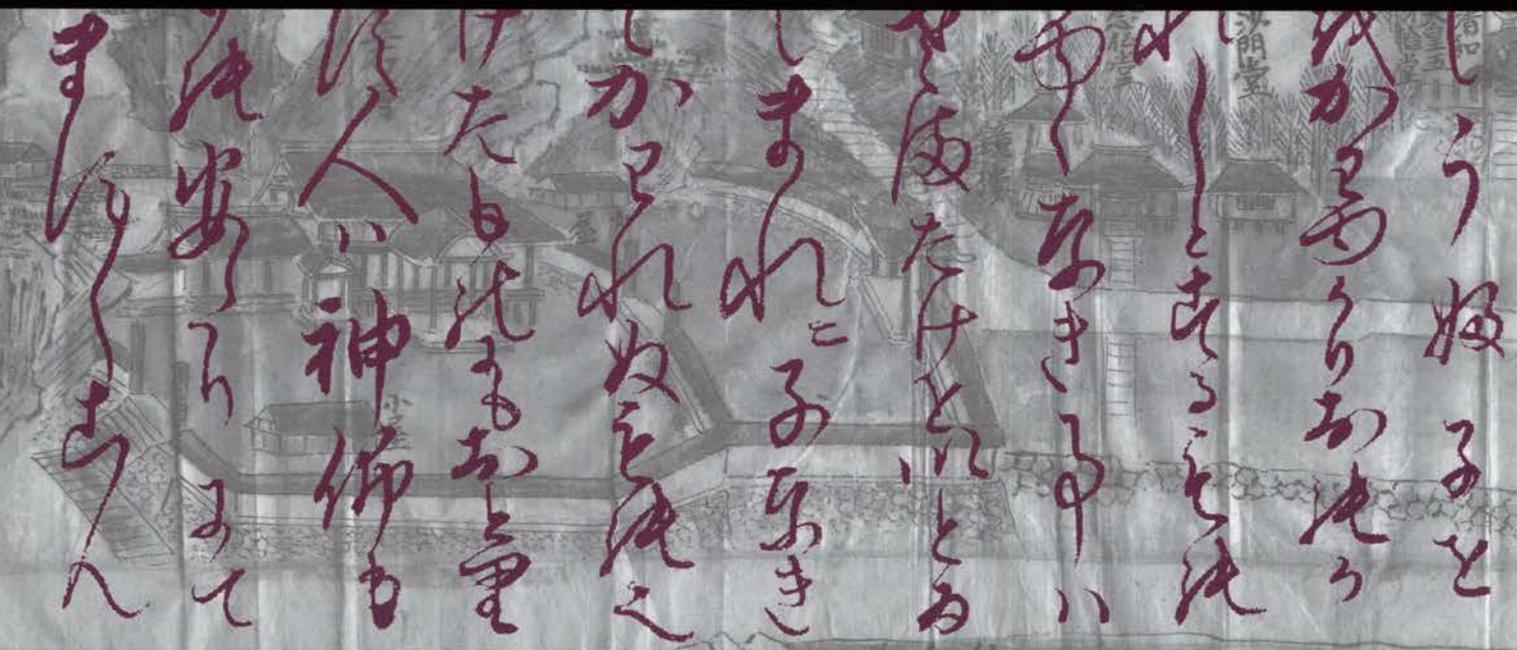
【開館時間】 9時～17時(※入館受付は16時30分)

【入館料】 無料

【入館料】 大人400円(20名以上の団体は1名につき320円)
[高校生以下、及び障害者手帳をご提示の方は無料]

【会場】 最上義光歴史館

【会場】 山寺芭蕉記念館



【主催】 山形大学附属博物館 公益財団法人山形市文化振興事業団 山形市
【お問い合わせ】 〒990-8560 山形市小白川町1丁目4-12 山形大学附属博物館
【開館・受付時間】 平日9:00～17:00 TEL: 023-628-4930 (直通)
E-mail: hakukan@jm.kj.yamagata-u.ac.jp http://www2.lib.yamagata-u.ac.jp/museum/

「遊びと信心の旅もよう」
このチラシを受付にご提示下さい。
5名様まで2割引でご覧いただけます。

割引券

こ もん じょ

古文書展

山形大学附属博物館の「家の都合 男女の事情」&「遊びと信心の旅もよう」

2会場
同時開催

「古文書」と聞いただけで「読めない」「難しい」との思いが先に立ちます。「読めないくずし字」も出てきますが、古文書は当時の人々の暮らしぶりや考え方がたっぷり詰まった情報の宝箱です。江戸時代に生きた人達にも、現代の私達と同じような喜びや悩みがありました。日常から抜け出す旅先での記録、日々の生活の中の出来事、揉め事などの事件が記録されているのも古文書なのです。さあ一緒に宝箱のフタを開けてみませんか。



喜之助妻欠落届



道中附覧

「家の都合 男女の事情」

2014年11月8日(土)～2015年1月16日(金)

【休館日】 毎週月曜日(国民の祝日と重なる場合はその翌日)
12月29日～1月3日

【開館時間】 9時～17時(※入館受付は16時30分)

【入館料】 無料

【会場】 **最上義光歴史館**



〒990-0046 山形市大手町1-53 (JR山形駅下車、徒歩15分)
TEL 023-625-7101 <http://mogamiyoshiaki.jp/>

「遊びと信心の旅もよう」

2014年11月13日(木)～2015年1月18日(日)

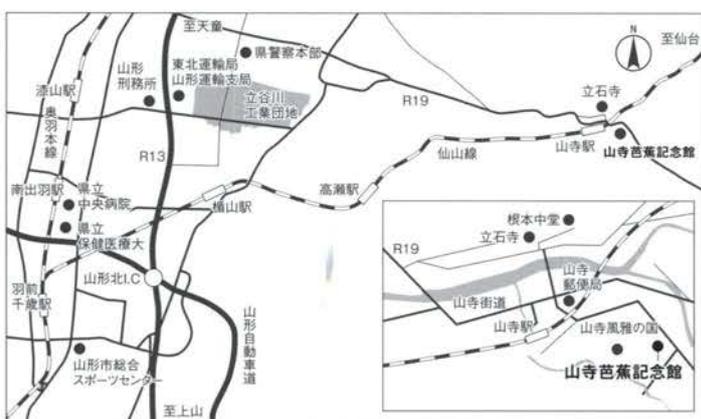
【休館日】 12月1・8・15・16日、12月29日～1月5日、1月13日

【開館時間】 9時～17時(※入館受付は16時30分)

【入館料】 大人400円(20名以上の団体は1名につき320円)

[高校生以下、及び障害者手帳をご提示の方は無料]

【会場】 **山寺芭蕉記念館**



〒999-3301 山形市大字山寺字南院4223 (JR山寺駅下車、徒歩8分)
TEL 023-695-2221 <http://yamadera-basho.jp/>

関連事業

「出張!古文書長屋 in 最上義光歴史館」

【相談員】 森谷圓人(山形大学プロジェクト教員)、高橋加津美(山形大学附属博物館 館員)
【日時】 2014年11月30日(日) 13時～【場所】 最上義光歴史館【参加費】 無料

山形大学附属博物館公開シンポジウム 「山形の古文書を未来に伝承するために Part2」

【日時】 2014年11月29日(土) 13時～【場所】 山形県郷土館 文翔館 講堂ホール【参加費】 無料

ギャラリートーク

「絵図にみる山寺」

【講師】 佐藤琴(山形大学基盤教育院 講師)
【日時】 2014年12月14日(日) 14時～
【場所】 山寺芭蕉記念館(入館料が必要です)

※詳細はお問い合わせ下さい。
山形大学附属博物館 TEL: 023-628-4930

平成26年11月5日
山形大学

「奥の細道マイスター養成事業」及び「松島町の文化遺産を活かした地域活性化事業」公開講座について

今年度、開講する**奥の細道マイスター養成事業**において、講義を公開講座として講座受講生以外の皆様にも開放します。あわせて、松島町で実施している**地域活性化事業**の成果の一部も報告します。

山形大学では平成24年度から一般市民を対象に、奥の細道についてのボランティアガイドを養成する「奥の細道マイスター養成講座」を開講しています。

今年度で3年目となり、初めて、宮城県松島町を会場に上級講座を開催いたします。上級講座を開催するにあたり、講義の一部を公開講座として広く一般に開放します。

あわせて、松島町でも、平成25年度から地域に埋もれた文化遺産に光を当て、地域の活性化に役立てるよう調査を行っております。その成果の一部を報告するとともに、今後の活動予定について紹介します。

◆日時：平成26年12月6日（土）13：00～16：00

◆会場：松島町文化観光交流館 大ホール（宮城県宮城郡松島町磯崎字浜1-2）

◆募集定員：200名（参加料 無料）※申込みが必要です。

◆内容：

開会挨拶（13：00～13：10）

第Ⅰ部 講演（13：10～14：40）

第Ⅱ部 パネルディスカッション（14：50～16：00）

◆受付開始：平成26年11月6日（木）午前9時から

（お問合せ先）
山形大学EM部社会連携課
電話 023-628-4843

平成26年度「山形大学 奥の細道マイスター養成事業」及び
「松島町の文化遺産を活かした地域活性化事業」公開講座

よみがえる東北文化

山形大学では、平成24年度から一般市民を対象に、奥の細道についてのボランティアガイドを養成する「奥の細道マイスター講座」を山形・宮城県内で開講しています。今回、初めて上級講座を開講するにあたり、講義の一部を公開講座として広く一般に開放します。

あわせて、松島町でも、平成25年度から地域に埋もれた文化遺産に光を当て、地域の活性化に役立てるよう調査を行っております。その成果の一部を報告するとともに、今後の活動予定について紹介します。

日時 平成26年**12月6日(土)** 13:00～16:00

場所 **松島町文化観光交流館 大ホール**
(宮城県宮城郡松島町磯崎字浜1-2)

参加無料
(先着順)
定員 **200名**

● 受付開始: **11月6日(木) 9時から**

※受付開始日前の申込みは無効となります。お申込み方法は、裏面申込書をご覧ください。

◆ 開会挨拶 (13:00～13:10)

◆ 第一部 講演 (13:10～14:40)

1. 「瑞巖寺・雄島の考古学的知見」 13:10～13:40

荒木 志伸 (山形大学基盤教育院 准教授)

2. 「雄島の板碑」 13:40～14:10

新野 一浩 (瑞巖寺 宝物館学芸員)

3. 「芭蕉が見た松島と文化遺産を生かした地域活性化事業の取り組みについて」

森田 義史 (松島町 教育委員会生涯学習班)

14:10～14:40

◆ 第二部 パネルディスカッション (14:50～16:00)

テーマ: 「よみがえる東北文化」

〈パネリスト〉

- ・新野 一浩 (瑞巖寺 宝物館学芸員)
- ・森田 義史 (松島町 教育委員会生涯学習班)
- ・荒木 志伸 (山形大学基盤教育院 准教授)
- ・佐藤 琴 (山形大学基盤教育院 講師)

〈コーディネーター〉

- ・山本 陽史 (山形大学基盤教育院 教授)

お問い合わせ

山形大学エンロールメントマネジメント部社会連携課

電話: 023-628-4843 FAX: 023-628-4491

E-mail: k-sangaku@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

主催: 山形大学

共催: 松島町教育委員会

松島町の文化遺産を活かした地域活性化事業実行委員会

〈申込先〉 山形大学EM部社会連携課
FAX:023-628-4491
E-mail:k-sangaku@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

「奥の細道マイスター養成講座公開講座」及び「松島町の文化遺産を活かした地域活性化事業公開講座」申込書

お申し込みの際は、以下に必要事項をご記入の上ファックスをお送りいただくか、以下の情報を入力してE-mailをお送りください。

なお、**平成26年11月6日(木)午前9時前**のお申し込みは**無効**となりますので、ご注意ください。

ふりがな お名前 (生年月日)	(年 月 日生)	性別
		男・女
ご住所	〒 -	
連絡先電話番号	ご自宅： - - 携帯電話： - -	
E-mail	@	
山形大学からの連絡方法 希望に○をつけてください	郵送 ・ ご自宅電話 ・ 携帯電話 ・ Eメール	

※今回記載していただいた個人情報は、この催しに関する事務処理のみに使用いたします。

※会場である「松島町文化交流観光交流館」の駐車場は、数に限りがございますので、公共交通機関をご利用いただきますようお願いいたします。

平成26年11月5日

山形大学

*詳細は別添の資料をご覧ください。

1. 浦戸諸島かき祭りの開催

被災地復興応援ツアーとして、宮城県塩釜市浦戸桂島において、浦戸諸島かき祭り～生産者とふれあうかき食べ放題ツアー～を開催します。かき祭りでかきを食べて住民ガイドと巡る桂島散策を楽しみませんか！松島の絶景ハイキング、震災復興への取り組み、かき漁師と巡る漁場見学クルージングなど様々なかきへの取り組みを見ることができます。このツアーは、山形大学観光再生プロジェクトで企画し、ツアーのサポートは山形大学生が行います。乗車、降車場所を、山形大学、山形駅、山形県庁前から選んでツアーに参加していただきます。

◆日時：11月16日（日）

◆参加費：3,000円（昼食代、ガイド講師料、漁場見学科含む）

◆定員：先着20名 ※11月7日（金）申込締切

2. 第4回安達峰一郎記念世界平和弁論大会の開催

山形大学都市・地域学研究所が主催し、山形の偉人安達峰一郎を記念した中高生による平和弁論大会を開催します。4回目となる今年は、北は北海道、南は宮崎県から計516名にご応募いただきました。本選出場者は20名。安達峰一郎の出身地である山辺町の共催で行います。参加は無料で、事前申込も不要です。

なお、同日午後6時より優秀者を祝う会を国際ホテルで開催しますので、こちらに参加を希望される方は、11月17日（月）までお申し込みください。（参加費6,000円）

◆日時：11月22日（土）13:00～17:00

◆場所：山形大学小白川キャンパス 基盤教育2号館222教室

3. 山形在来作物研究会公開フォーラムのお知らせ

山形在来作物研究会では毎年公開フォーラムを開催しており、今年は「お米の博物学事始めー‘亀ノ尾’発祥の地からー」をテーマに庄内町で開催します。

開催地の庄内町は、‘コシヒカリ’や‘つや姫’などのコメの主力品種のルーツの一つである品種‘亀ノ尾’の発祥の地です。いつの時代も私たちの主食であり続けるコメを改めてさまざまな角度からとらえるとともに、コメを活用した新産業創造の可能性についても展望し、コメとその利活用の未来についてグローバルな視点から考えるフォーラムにしたいと思っています。入場は無料。

◆日時：11月29日（土）14:00～17:00

◆場所：庄内町商工ふれあい会館「コア・アルザ」

◆主催：山形大学農学部 ◆共催：庄内町新産業創造協議会、山形在来作物研究会

4. 山形大学校友会支援事業「山形大学卒業生講演会」の開催

人文学部と理学部の同窓会組織である「ふすま同窓会」と山形大学校友会との共催により、「山形大学卒業生講演会」シンポジウム『活躍する山形大学卒業生』～私にとっての山形大学とは？～を開催します。本学の卒業生4名がシンポジストとして参加します。

◆日 時：12月6日（土）13：00～15：00

◆場 所：山形大学 基盤教育1号館 112教室（山形市小白川キャンパス）

◆シンポジスト：

倉金 徹 氏（株式会社 旭ブレインズ 取締役・中小企業診断士）

碓 真実 氏（青年海外協力隊員としてニジェール、ジブチに理数科教師として赴任）

伊藤 さよ 氏（山形県警察本部刑事部科学捜査研究所化学担当）

ゾマホン・スールレレ 氏（日立製作所）

◆対 象：山形大学在学生、卒業生、教職員（参加費は無料）

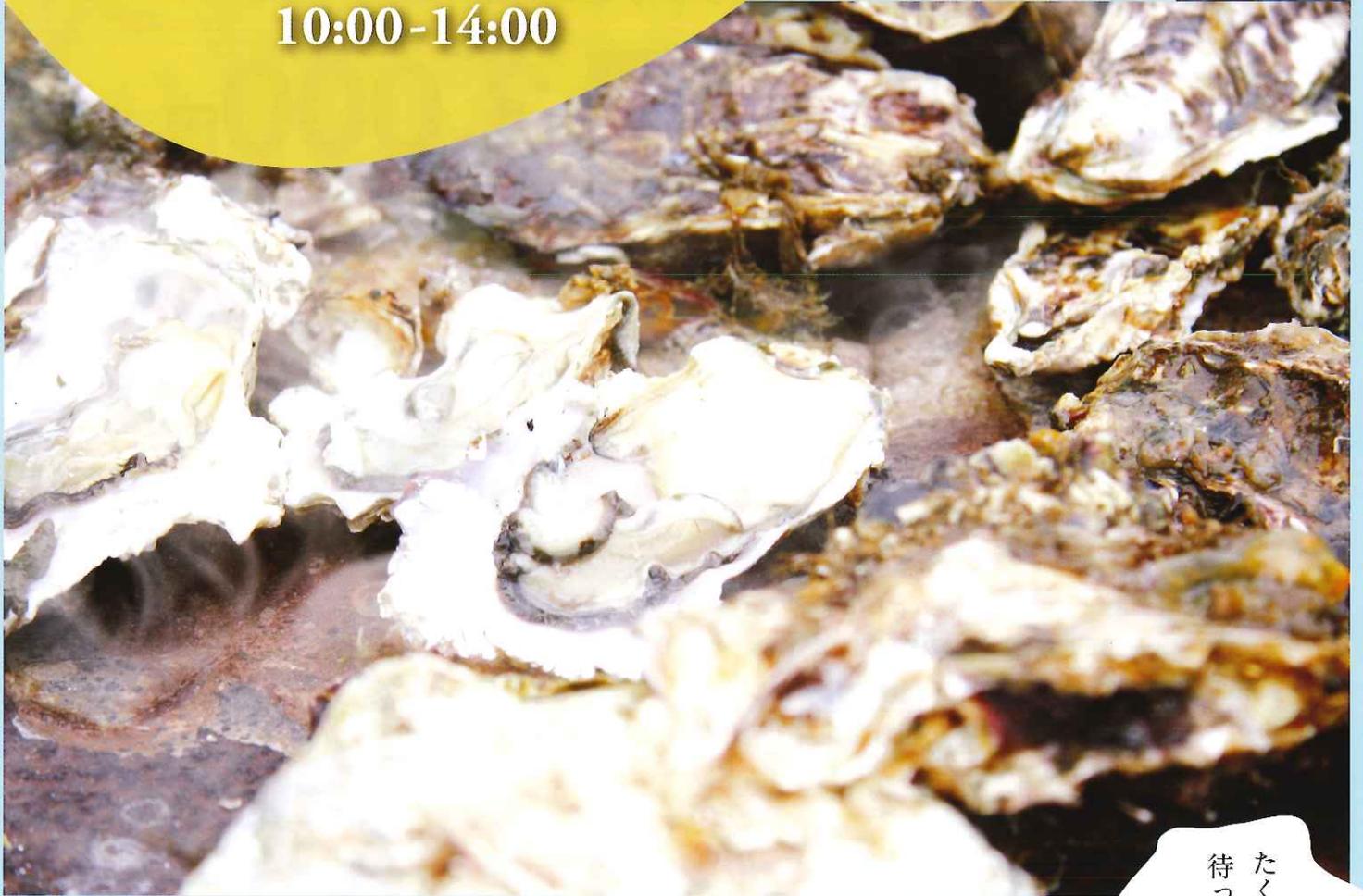


浦戸諸島 かつらしま かき祭り

11/16 Sun
10:00-14:00



先着 200 名様限定!
焼きがき 2 個 & かき汁
振る舞います!



たくさん準備して
待ってるよ!

【会場】

浦戸諸島桂島 かき処理場前

【アクセス】

JR 仙台駅  約 30 分 → JR 本塩釜駅  約 10 分 → マリンゲート塩釜

 塩釜市営汽船 マリンゲート塩釜 約 23 分 → 桂島

※マリンゲート塩釜に駐車場有(100円/1時間)

【お問い合わせ】

担当 / 内海:080-5573-2157

【主催】

宮城県漁協塩釜浦戸支所 桂島・石浜かき部会

行先	塩釜発 9:30 - 桂島着 9:53
	塩釜発 11:00 - 桂島着 11:23 <small>※サターデー便</small>
帰り	桂島発 14:31 - 塩釜着 14:54



かきご飯



かき汁



かきカレー

etc...



～かきのふるさと浦戸諸島桂島～ 生産者とふれあう かき食べ放題ツアー

11/16日

ツアー代金

3,000円

(昼食代、ガイド講師料、漁場見学科含む)

- 8:30 山形大学 出発※1
- 8:40 山形駅前 出発※1
- 8:50 山形県庁前 出発※1
- 11:00 マリンゲート塩釜から桂島へ出発
- 11:40 かき祭り参加～焼きがき・かき汁・かきご飯付き～
- 13:00 住民ガイドと巡る桂島散策 (ガイド講師：区長 内海栄蔵さん)
 - ・松島の海山を堪能する絶景ハイキング
 - ・現場で紹介する震災復興への取り組み
 - ～地域リーダーが語る地域の防災・減災～
 - ・「かき漁師」と「桂島産かきが出来るまで」紹介ビデオ上映
 - ・地元産かきを使ったおみやげ品「かき燻製」づくり
- 14:45 かき漁師と巡る！漁場見学クルージング
- 15:30 本日限定！地元漁師を囲む交流会・焼きがき食べ放題
- 17:01 桂島棧橋 出発
- 17:23 塩釜マリンゲート 到着
- 19:10 山形県庁前 降車※1
- 19:20 山形駅前 降車※1
- 19:30 山形大学 降車※1



内海栄蔵さん

**先着
20名様
限定!!**

※1：乗車・降車場所を(山形駅前・山形大学・山形県庁前)よりお選び頂けます。
お申し込みの際に、3ヶ所からお選びください。

●お申し込み方法

**お申し込み方法につきましては有限会社山形E旅まで、
お電話もしくはEメールにてお申し込みください。**

●募集型企画旅行

有限会社山形E旅

山形県知事登録旅行業第2-237号 一般社団法人全国旅行業協会正会員
〒990-0811 山形市長町四丁目5-43

TEL/023-681-3139

FAX/023-681-3159

Eメール/mail@yamagata-etabi.com

URL/http://yamagata-etabi.com

営業時間/9時～18時(日祭日除く)

総合旅行業務取扱管理者/金田史生

●お申し込み〆切 11/7金

●共催・企画/一般社団法人e-front、山形大学観光再生プロジェクト

●お問い合わせ/山形大学観光再生プロジェクト

TEL/080-9639-3724(担当:近藤)

※本ツアーは被災地復興応援ツアーとなっております。

◎取消料規定

旅行開始日の前日から起算して7日前から2日前まで・・・料金の20%
 旅行開始日の前日・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・料金の40%
 旅行開始日・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・料金の50%
 旅行開始後または無連絡不参加・・・・・・・・・・・・・・・・料金の100%

【注意事項】○往復バスには山形大学の学生も同乗いたします。宜しければ現役大学生とのコミュニケーションもお楽しみください。○食事条件：昼食のみ(焼きがき、かき汁、かきご飯)焼きがき食べ放題
 ○最小催行人員：1名○添乗員・バスガイド：同行しません。(山形大学学生がサポートします)○料金に含まれるもの：貸切バス料金、有料道路料金、乗船料金、かき祭り整理券(3品分)、焼きがき食べ放題
 料金、現地ガイド料金、漁場見学科○料金に含まれないもの：個人的性質の諸費用、その他上記以外○天候や道路交通事情により、コース・時刻が変更となる場合がございます。○お申込み：11月7日(金)
 までに電話、Eメールのいずれかにてお願い致します。○その他につきましては、お申込み時にお渡しする旅行取引条件説明書面にてご確認ください。

第4回安達峰一郎記念世界平和弁論大会

開催日時:2014年11月22日(土)13:00~17:00

会場:山形大学小白川キャンパス基盤教育2号館222教室

全国から本選に選ばれた、20名の中高生!『新鮮な若い声』に耳を傾けてみよう!



参加無料

申込不要



当日優秀者を囲んだ夕食会「優秀者を囲む夕べ」を開催致します。
優秀者等との交流の機会としたいと存じますので、こちらにも是非ご参加ください。

会場:山形国際ホテル
時間:18:00~20:00
参加費:6000円
申込〆切:11月17日(月)

後援:朝日新聞山形総局、NHK山形放送局、河北新報社、株式会社テレビユー山形、長崎市、
ふすま同窓会、毎日新聞山形支局、山形新聞・山形放送、読売新聞山形支局、
協賛:宝光院、トヨタカローラ山形株式会社、株式会社山形銀行、山形パナソニック株式会社、安国寺、
株式会社シェルター、株式会社カキザキ(山形国際ホテル)、株式会社三陽製作所、香道大枝流
株式会社山形グランドホテル、山形建設株式会社、坂部印刷株式会社、株式会社シベール

問合せ・申込先:山形市小白川町1-4-12
山形大学人文学部松尾研究室
TEL・FAX 023-628-4917
山形大学人文学部総務課
TEL 023-628-4203

主催:山形大学都市・地域学研究所 / 山形県山辺町

基調講演

「お米の博物学事始め」

京都産業大学
フューチャーセンター教授

佐藤洋一郎

座談会

「語ろう! お米の現在、 過去、未来」

●パネリスト

京都産業大学フューチャーセンター教授

佐藤洋一郎

鯉川酒造 代表取締役社長

佐藤一良

山形在来作物研究会会長

江頭宏昌

●コーディネーター

山形在来作物研究会副会長

平智

今年度の山形在来作物研究会フォーラムは、「コシヒカリ」や「つや姫」など、現在のコメの主力品種のルーツである伝説の「亀ノ尾」の発祥の地、庄内町と連携して開催。いつの時代も私たちの主食であり続けるコメを、あらためてさまざまな角度からとらえ、コメを活用した新たな産業創造の可能性を展望しながら、その未来についてグローバルな視点から考えるフォーラムにしたいと思います。

伝説の亀ノ尾は、
やつぱりエラかった。

山形在来作物研究会
公開フォーラム2014
in 庄内町

お米の博物学 事始め

亀ノ尾発祥の地から

2014.11.29(土)

時間 | 14:00-17:00

会場 | 庄内町商工ふれあい会館「コア・アルザ」

JR余目駅から徒歩7分 | 庄内町余目字三人谷地13-1 tel.0234-42-2556

[参加無料]

●公開フォーラムへの参加は無料です。予約の必要もありません。

お問い合わせ | 山形在来作物研究会事務局 nobuyosi@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp
tel.0235-28-2830(小笠原)・2829(平)・2852(江頭)

山形在来作物研究会
公開フォーラム
2014

主催 | 山形大学農学部

共催 | 庄内町新産業創造協議会・山形在来作物研究会

シンポジウム

活躍する山形大学卒業生 ～私にとっての山形大学とは？～

それぞれの分野で活躍する卒業生がパネラーとなり、自身のこれまでの生き方を通じて、
これからの学生生活や就職活動へのヒントとなることを熱く語りかけます。
学生の皆さんの積極的な参加をお待ちしています。

日時

12月6日(土)
13:00~15:00

場所

**山形大学基盤教育1号館
112教室(1階)**

■対象者：山形大学在学生、卒業生、教職員

■参加費：**無料** (米沢、鶴岡キャンパスから参加される場合の交通費は校友会が負担します。)

■お申し込み期限：12月1日(月) 募集人数 50名

※終了後にはシンポジストを囲んでのティーパーティーを行います。(参加費無料です)

シンポジスト

◎倉金 徹 氏 (人文学部文学科哲学専攻 平成5年卒)
株式会社 旭ブレインズ 取締役・中小企業診断士

◎碓 真実 氏 (地域教育文化学部地域教育学科中学校(理科)教員養成コース 平成22年卒)
青年海外協力隊員としてニジェール、ジブチに理数科教師として赴任
山形市少年自然の家

◎伊藤さよ 氏 (大学院理学研究科化学専攻 平成9年修了、平成15年理学博士)
山形県警察本部刑事部科学捜査研究所化学担当

◎ゾマホン・スールレレ 氏 (ベナン) (大学院理工学研究科博士前期(工・情報)平成20年修了)
日立製作所

座長 渡辺将尚 氏 (人文学部人間文化学科 准教授：人文学部文学科 平成7年卒)

お申し込み先(在学生)

- 各学部学生担当窓口
(医・工・農の1年次の場合は小白川キャンパス基盤教育担当窓口)
- 山形大学校友会事務局
(小白川キャンパス インフォメーションセンター内)

お申し込み先(在学生以外)

〒990-8560 山形市小白川町1-4-12
山形大学校友会事務局
TEL:023-628-4867
FAX:023-828-4185
e-mail:ykouyu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

〒990-0022 山形市東原町1-9-4
ふすま同窓会館内
ふすま同窓会
TEL&FAX:023-633-9927
e-mail:fusumadosokai@yahoo.co.jp

FAX送信先

山形大学校友会 宛 **FAX** 023-628-4185

ふすま同窓会 宛 **FAX** 023-633-9927

平成26年度山形大学校友会支援事業「山形大学卒業生講演会」

シンポジウム

活躍する山形大学卒業生 ～私にとっての山形大学とは?～

◆上記シンポジウムに参加を希望される方は本申込書にご記入の上、上記へFAX願います。

申込締め切り：平成26年12月1日(月)

参加申込書【FAX用】

■ご住所

■お名前

■お電話番号

() —

■(卒業生の場合)

() 学部 昭和・平成 () 年卒業

※お申し込みの際にいただいた個人情報は本会のみ利用させていただき、それ以外の目的での利用は致しません。

※参加申込はe-mail、電話でも差し支えありません。

e-mail

ykouyu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp (山形大学校友会事務局)
fusumadosokai@yahoo.co.jp (ふすま同窓会)

TEL

023-628-4867 (山形大学校友会事務局)
023-633-9927 (ふすま同窓会)